

議提第 1 号

現行の健康保険証の存続を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり白石市議会会議規則第13条第1項の規定により提出します。

令和 6年 6月 27日

提出者 白石市議会議員 伊藤勝美

賛成者 白石市議会議員 沼倉啓介

〃 〃 澁谷政義

〃 〃 高子秀明

〃 〃 佐藤龍彦

〃 〃 _____

〃 〃 _____

〃 〃 _____

白石市議会議長 松野久郎 殿

現行の健康保険証の存続を求める意見書

政府は、2023年12月22日、現行の健康保険証は2024年12月2日をもって廃止し、マイナンバーカードに一本化することを閣議決定しました。

2024年1月末時点でのマイナンバーカード保有者は9,168万人（全人口の73.1%）で、カード保有者の77.9%がマイナ保険証に登録はしていますが、その利用率も伸び悩んでいるのが現状です。

それは、カードの誤登録（約9,200件）や情報漏洩、資格無効と表示されるなど、マイナンバーカードでの受診トラブルが続出し、多くの国民・患者は不安を抱えているからです。

また、健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持たない人（作れない人）は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねません。

いつでも、どこでも、だれでもが、安心して医療を受けられる国民皆保険制度を守るため、2024年12月に現行の健康保険証の廃止を拙速に行わず、慎重に検討を重ねて進めるよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 6年 6月 27日

宮城県白石市議会議長 松野 久郎

衆議院議長 殿
参議院議長 殿
内閣総理大臣 殿
総務大臣 殿
法務大臣 殿
厚生労働大臣 殿
デジタル大臣 殿